

1. 人間科学科授業科目一覧表

① <<2019年度入学生に適用>>

| 区分 | | 1 年 次 | 2 年 次 | 3 年 次 | 4 年 次 | 履 修 方 法 | |
|---------|--------------------|--|--|---|---|---|---------------------|
| 教 養 科 目 | 基礎科目群 | 英語ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB、初級独語A・B・C・D、初級仏語A・B・C・D、初級中国語A・B・C・D、初級韓国語A・B・C・D 各① | 英語ⅢA・ⅣA・ⅢB・ⅣB、 応用英語A・B・C・D、 応用独語A・B・C・D、 応用仏語A・B・C・D、 応用中国語A・B・C・D、 応用韓国語A・B・C・D 各① | | | 同一外国語科目を8単位必修 ※英語については2年次配当の応用英語A・B・C・Dは8単位に含めないで注意すること。 | |
| | | 論述・作文A、論述・作文B 各② | | | | 履修必修 | |
| | | コンピュータ基礎A、コンピュータ基礎B 各② | コンピュータ応用A、コンピュータ応用B、コンピュータ応用C 各② | | | 「コンピュータ基礎A・B」は履修必修 | |
| | | 日本語A、日本語B、日本語C、日本語D、応用日本語A、応用日本語B 各① | | | | ※日本語A・B・C・D、応用日本語A、Bは外国人留学生だけが履修できる。 | |
| | 人文・社会・健康・自然科目群 | 哲学、倫理学、宗教学、日本史、日本近代史、世界史A、世界史B、北海道史、世界の民族音楽、東洋の美術、ヨーロッパの美術、世界の言語と日本語、言語と社会、言語と数理、日本文学、外国文学、現代と法、日本国憲法、人権論、くらしと現代経済、現代ビジネス論、社会学、北海道社会論、アジア事情A、アジア事情B、教育学、現代の福祉、現代と情報、心理学、健康科学、心理学概説、スポーツと健康、スポーツA、統計学、物理学、地学、地球の科学、生命科学、生態進化学、環境論 | | | 各② | 6単位以上選択必修 | |
| | 総合科目群 | キャリア | キャリア数学A①、職業と人生A②、キャリアデザイン演習A② | スポーツB ② キャリア数学B①、職業と人生B②、キャリアデザイン演習B② | キャリア数学C①、職業と人生C②、職業と人生D② | | |
| | | | | 企業の経営と仕事 ② | | | |
| | | 総合 | 教養ゼミナールA、教養ゼミナールB 各② | | | | |
| | 地域連携科目群 | | 全学共通特別演習A、全学共通特別演習B 各② | | 全学共通特別演習C、全学共通特別演習D 各② | | |
| | グローバル科目群 | | 地域貢献A②、地域貢献B②、地域貢献C②、地域貢献D②、地域貢献活動A①、地域貢献活動B①、地域貢献活動C①、地域貢献活動D① | | | | |
| | | 異文化グループワークA、異文化グループワークB、プロジェクトマネジメント入門、TOEICトレーニングA、TOEICトレーニングB、TOEICトレーニングC、TOEICトレーニングD、海外スタディⅠ、グローバルインターンシップⅠ、グローバルボランティアⅠ、日本語を教えるA、日本語を教えるB | 海外スタディⅡ、グローバルインターンシップⅡ、グローバルボランティアⅡ 各② | | 各② | | |
| 計 | | | | | | 教養科目計 24単位以上 | |
| 区分 | | 1 年 次 | 2 年 次 | 3 年 次 | 4 年 次 | | |
| 専 門 科 目 | 基幹科目群 | 人間科学基礎ゼミナールA、人間科学基礎ゼミナールB 各② | 人間科学基礎ゼミナールC ② | 専門ゼミナールA 専門ゼミナールB 各② | 卒業論文 ⑥ | 7科目18単位必修 | |
| | 基本科目群 | 講義科目 | 障害学 ② 人間科学と倫理、人権思想史、現代社会論、生活構造論A、生活構造論B、社会福祉論A、社会福祉論B、発達心理学A、発達心理学B、子どもの権利と教育、現代学習論、日本社会史A、日本社会史B、考古学A、考古学B、民俗学A、民俗学B 各② 哲学的人間学 ② 人間論特殊講義 ② | | | | 講義科目から10単位以上選択必修 |
| | | 研究法・実習科目 | | 社会調査法 ②、フィールドワーク ④ 野外環境演習、心理学研究法A(実験・調査法)、心理学研究法B(心理統計法)、心理学実験実習Ⅰ、心理学実験実習Ⅱ、考古学研究法、歴史学研究法、民俗学研究法 各② | 考古学実習 ② | | 研究法・実習科目から2単位以上選択必修 |
| | | 社会領域 | ジェンダーの社会学、社会的人間論 各② | 地域社会学、家族社会学、産業社会学、教育社会学、マスメディア論 各② | | | |
| | 領域科目群 | 福祉領域 | エイジング論 ② | 社会保障論A、社会保障論B、障害者福祉論、高齢者福祉論A、高齢者福祉論B、児童福祉論、児童福祉特論、司法福祉論、公的扶助論、地域福祉論A、地域福祉論B、医療福祉論 各② | | | |
| | | 心理・教育領域 | 障害児病理学 ② | | | | |
| | | | 認知心理学 ② | パーソナリティ論(人格理論)、教育心理学A、教育心理学B、精神医学、精神医学概論 各② | | | |
| | | | | 健康教育概論、社会心理学A、社会心理学B、教育課程論、教育方法・技術論、教育学特殊講義A、教育学特殊講義B、知的障害者の心理学、知的障害者の生理・病理、肢体不自由者の心理・生理・病理、病弱者の心理・生理・病理、発達障害教育論、視覚障害教育総論、聴覚障害教育総論、重複障害教育総論、言語障害教育論、心理学特殊講義A、心理学特殊講義B、障害児・者教育論 各② | | | |
| | 文化領域 | | 特別支援教育総論、特別支援教育各論Ⅰ(コーディネーター論)、特別支援教育各論Ⅱ(IEP論) 各② | | | | |
| | | | 文化史概説、アイヌ史、北海道史研究A、北海道史研究B 各② | | | | |
| | | アジア社会史 ② | | 英米社会研究A、英米社会研究B 各② | | | |
| 思想領域 | | | 口頭史口頭文芸論、文化動態論、地域文化史、文化財概論、北方の歴史・文化、文化史の諸問題 各② | | | | |
| 自由選択科目群 | | 生命倫理学、環境倫理学、現代思想A、現代思想B、日本思想論、人間と文学、人間と宗教 各② | | | | | |
| | | 視聴覚教育メディア論、博物館概論、博物館教育論、博物館情報・メディア論、相談援助の基盤と専門職Ⅰ 各② | | 就労支援の方法②、権利擁護と成年後見制度②、福祉行財政と福祉計画②、福祉運営管理論②、医学一般②、社会福祉演習Ⅱ④、社会福祉実習⑥、社会福祉実習指導③、特別支援教育実習③ | | | |
| | | | 生涯学習概論A②、生涯学習概論B②、精神保健の課題と支援④、精神保健福祉に関する制度とサービス④、精神障害者の生活支援システム②、社会福祉演習Ⅰ④、ソーシャルワーク総論A②、ソーシャルワーク総論B②、ソーシャルワークの方法A②、ソーシャルワークの方法B②、相談援助の基盤と専門職Ⅱ② | | 社会福祉演習Ⅲ ② | | |
| | | | 知的障害教育Ⅰ、知的障害教育Ⅱ、肢体不自由教育Ⅰ、肢体不自由教育Ⅱ、病弱教育 各② | | | | |
| | 精神保健福祉相談援助の基盤(基礎)② | 精神保健福祉相談援助の基盤(専門)②、精神保健福祉の理論と相談援助の展開A④ | 精神保健福祉の理論と相談援助の展開B④ | 精神保健福祉援助演習(基礎)② | 精神保健福祉援助演習(専門)④ 精神保健福祉援助実習指導③ 精神保健福祉援助実習⑦ | | |
| 計 | | | | | | 専門科目計 80単位以上 | |
| 合計 | | | | | | 124単位以上(※注1) | |

注1:人間科学科の卒業要件は、教養科目24単位以上+専門科目80単位以上(十教養科目または専門科目から20単位以上)=124単位以上の修得となります。

注2:他学部他学科授業科目の単位を修得した場合、別に定める区分に従い、教養科目として8単位(教養科目群から修得すべき最低修得単位数からは除く)、専門科目として24単位を上限に課程修了の要件に加算します。

注3:科目名に続く○内の数字は単位数を表します。 注4:2019年度以降入学生については、専門科目として上記一覧表以外に教職課程を履修している学生のみが履修できる科目があります。詳細は、諸資格課程の教職課程の箇所を確認してください。

<<2019年度入学生に適用>>